

公共事業再評価事業別調書

担当所属	農林水産部	農村整備課
再評価	未着工	長期継続(農林水産省10年)
実施要件	その他()	

1 事業の概要

事業種別	農業農村整備事業	事業主体	県	市町村	その他()			
事業名	県営農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業	地区名等	庄内					
事業区分	補助事業等 単独事業	負担区分	国 50% : 県 42% : 市町村 8% : その他 %					
採択年度	4 年度 (用地着手 4年度、工事着手 5年度)							
終了予定	15 年度 (14年 3月計画変更<計画時 8年度>)							
事業目的	六ヶ所村の主要な農業地域を走る本農道は、未整備狭小の砂利道となっている。また、これまで分断されていた「酪農の庄内」と「野菜の中志・倉内」の農地を結ぶことにより、農作物の流通の合理化と農作業の効率化を図るものである。							
主な内容	農道 L = 3,000m (全体延長 L = 5,580m)							
事業費	採択時総事業費 345百万円 単位：百万円							
		~H11年	H12年	H13年	H14年	小計	H15年~	合計
計画 (うち用地費) <14年3月変更>		397 (43)	100	50	100	647 (43)	79	726 (43)
実績 (うち用地費)		397 (43)	100	50	100	647 (43)	79	726 (43)
その他	同意率(採択時 91.0%、第1回計画変更 90.7%、第2回計画変更 98.5%) 庄内地区：採択時事業費 345百万円、計変後事業費 726百万円(H4~H15) 庄内2期地区：採択時事業費 543百万円、計変後事業費 848百万円(H10~H17)							

2 評価指標及び項目別評価

(1) 事業の進捗状況

AA・A・B・C

事業の進捗状況	単位：%		
		計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗
	事業費割合 (うち用地費)	89.1% (100.0%)	100.0% (100.0%)
	工種毎割合 (主要工種)	農道工(路盤工)	100.0%
説明	年次計画どおり進捗している。		
問題点・解決見込	なし		
事業効果発現状況	路盤工事を完了した区間から供用を開始しており、所期の事業効果を十分に発現している。		

(2) 社会経済情勢の変化

AA・A・B・C

社会的	全国：食料自給率を向上させるため、農業の生産基盤を整備し、農家の経営安定を図ることが重要である。
評価	県内：県内の農道舗装率はH13年度で9.0%にとどまっており、今後とも農道整備の推進が重要である。 地域：本地域は「酪農の庄内、野菜の中志・倉内」と生産地域別に呼ばれてきたが、近年、特に畜産物の輸入拡大や産地間競争等に起因する価格低下などにより、畜産のみでは農業所得が不安定なため、長芋等の高品質多収益作物の作付拡大に取り組んでいる。本農道は農作物の効率的な運搬と荷痛みの軽減を図るため、地域農家から早期完成を強く要望されている。

予算動向	国：H14/H4=79% 公共事業費が削減されているため、予算が大幅に減少している。 県：H14/H4=81% 国の公共事業費削減と実施地区数の減少により、事業費が減少している。										
必要性等	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>計 画 時</th> <th>再 評 価 時</th> <th>左の説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要性及び重要性</td> <td> 村の主要な農業地域であることから、分断されていた農地を結ぶことにより、集落間における農作物の輸送の合理化と農作業の効率化を図るため、本農道の整備を地域農家から強く要望されており、早期整備が必要である。 </td> <td>同 左</td> <td> 農業振興を図る観点から、本農道整備の必要性・重要性は計画時、再評価時ともに高い。 </td> </tr> </tbody> </table>		計 画 時	再 評 価 時	左の説明	必要性及び重要性	村の主要な農業地域であることから、分断されていた農地を結ぶことにより、集落間における農作物の輸送の合理化と農作業の効率化を図るため、本農道の整備を地域農家から強く要望されており、早期整備が必要である。	同 左	農業振興を図る観点から、本農道整備の必要性・重要性は計画時、再評価時ともに高い。		
	計 画 時	再 評 価 時	左の説明								
必要性及び重要性	村の主要な農業地域であることから、分断されていた農地を結ぶことにより、集落間における農作物の輸送の合理化と農作業の効率化を図るため、本農道の整備を地域農家から強く要望されており、早期整備が必要である。	同 左	農業振興を図る観点から、本農道整備の必要性・重要性は計画時、再評価時ともに高い。								
その他	な し										

(3) 費用対効果分析の要因変化

AA・**A**・B・C

費用対効果分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>計 画 時</th> <th>再 評 価 時</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用 (C)</td> <td>1,655百万円</td> <td>1,655百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>効果 (B)</td> <td>1,698百万円</td> <td>1,698百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B / C</td> <td>1.02</td> <td>1.02</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		計 画 時	再 評 価 時	増 減	費用 (C)	1,655百万円	1,655百万円		効果 (B)	1,698百万円	1,698百万円		B / C	1.02	1.02			
	計 画 時	再 評 価 時	増 減																
費用 (C)	1,655百万円	1,655百万円																	
効果 (B)	1,698百万円	1,698百万円																	
B / C	1.02	1.02																	
変化内容	費用：変化なし 効果：変化なし																		
B/Cへの影響	な し																		

(4) コスト縮減・代替案立案の可能性

コスト縮減の可能性	な し
代替案の可能性	な し

(5) 評価に当たり特に考慮すべき点

住民ニーズ把握状況	村の主要な農業地域の振興を図るための幹線農道整備であり、農作物の流通の合理化と農作業の効率化を図るために、地域農家から早急な整備を要望されている。
環境影響への配慮	切土部及び盛土部の法面を緑化し、自然環境に配慮している。
地域特性	本地区は、丘陵畑地帯と低地谷地部の水田地帯を通る農道であると共に、庄内集落と中志集落の農地を一体的に結ぶ幹線農道であることから、早期完成が待たれている。

3 対応方針（事業実施主体案）

総合評価	継続 見直し継続 中止 休止（農林水産省所管事業に限る）
評価理由	本事業は、地域農業に果たす役割が大きいことから、地元要望を踏まえ平成15年度の完成に向け継続して実施する。
備考	

4 公共事業再評価審議委員会意見

委員会意見	対応方針（案）どおり 対応方針（案）を修正すべき
委員会評価	継続 見直し継続 中止 休止（農林水産省所管事業に限る）
評価理由	
附帯意見	